

第二次稲城市子ども・子育て支援事業計画（案）市民説明会の報告について

名称	第二次稲城市子ども・子育て支援事業計画（案）市民説明会	
日時	令和2年2月22日（土）10時～11時45分	
会場	稲城市地域振興プラザ2階商工会会議室	
出席者	子ども・子育て会議委員：角田委員、下曾小川委員 事務局：石井子ども福祉担当部長、子育て支援課杉本課長、保育・幼稚園係福田係長、馬場主事、(株)コクドリサーチ小松氏	
参加者	一般参加者27名（保育児童8名）	
主なご意見と回答		
No	ご意見	回答
1	子ども・子育てなのに、子どもの声が反映されているのか。子どもの目線で書かれているのか。児童虐待は子どもからの声がないと分からないと思う。 不登校の問題が、計画で触れられていないと思うがなぜか。	ニーズ調査は中学生本人も行っている。虐待の関係は子ども家庭支援センターも事務局として入っている。不登校の問題については、事務局に教育委員会も入っており、PTAの代表も委員として入ってご審議いただいている。 不登校の問題については、教育振興基本計画と連携を取りながら進めていくかと思うが、主要事業としては、計画書P79、P80に記載の教育相談事業、スクールカウンセラー等活用事業が該当となる。
2	支援学級（通級）という言葉も入っていないがこれも区分が違うためか。	主に教育振興基本計画の内容になってくるかと思う。計画書P109に記載している。
3	説明会の位置づけについて確認したい。今回の意見を次回の会議で審議していただき、必要に応じて修正することはあるのか。	今回のご意見を踏まえ、次回の子ども・子育て会議で審議いただき、修正できるものは修正する。
4	たらいまわしの回避のためにも、子育て世代包括支援センター（以下「包括支援センター」）の設置について稲城市の対応が遅れていると思うが認識を伺いたい。また、他の計画で目標管理するものが増えているがその理由を伺いたい。	包括支援センターの設置については、法律上の努力義務であり令和3年4月からスタートすることで健康課が主体となって進めており、遅れているという認識はない。包括支援センターとしてスタートをするのは令和3年4月としているが、現在もそれぞれの部門においてしっかりと対応と繋ぎは行っている。これをどのように、個人情報問題なども含めて明確にできるか整理しているところである。 計画については、まず稲城市には長期総合計画という大きな柱があり、その下に福祉部で言えば保健福祉総合計画があり、さら

		にその下に、本計画などがある。教育部門であったり、都市計画であったりそれぞれの部門において計画があるわけだが、例えば道路の整備については高齢者や市民全体に関わる内容になっているため、個別の計画において管理しているものについてはそれぞれの計画でしっかりと管理し、情報提供しながら進めていくということで考えている。
5	子ども・子育て会議の委員への資料開示が会議の直前になっていると聞いている。各委員がしっかり資料を読み込む時間がないと審議ができず、形式的な会議になってしまうのではないかと。また、議事録は公開されているようだが、会議資料について公開されていないのはなぜか。全体的に会議が形式的なものだけになっているのではないかと。	資料の公開については、まだ検討段階のものを公表し途中でまた変更が入るなどすると分かりづらいことも考えられるため、ある程度全体が整理された段階で意見公募、市民説明会を実施させていただき最終的に固めさせていただくという流れで進めさせていただいた。子ども・子育て会議の資料送付の遅れについては、平成31年度からはなるべく1週間前までには送れるよう努めている。
6	2030年の未来を考える市民会議に参加させていただいたのだが、そこで出た市民提言は今回の計画にニュアンスだけでも取り入れてもらえるのか。	ご意見については伺っているが、本計画には現段階では入っていない。今後、長期総合計画の整理を受けて、中間見直しで取り入れていくのがいいのではないかと考えている。
7	各論の「今後の目標又は今後の取り組み」で「事業の継続」という記載は、予算も同額という理解でよろしいか。	「今後の目標又は今後の取り組み」の部分については、方向性を示したもので、予算と完全に連動しているわけではない。
8	学童の確保提供量はどのように見ればいいのか教えてほしい。	学童クラブの確保提供量は、学童クラブと放課後子ども教室の提供量（受入人数）を記載している。量の見込み（ニーズ量）に対して十分な提供量を確保できている。
9	ショートステイ事業は、調布市の施設に委託していると思うが、稲城市内に施設を作る予定はないのか。また、対象が1歳児からとなっているが、0歳児から利用できるとうれしいと思う。	施設を建てる予定はないが、養育協力家庭の事業を令和2年度から開始する予定。
10	主要事業のそれぞれの予算というのは分かるのか。公開はされるのか。	予算書に事業別の予算は記載があるが、本計画における主要事業ごとに記載があるか

		はそれぞれの括りの仕方によって分かるものと分からないものがある。予算書は図書館や市 HP からご覧いただける。
11	計画の見直しについて、第二次計画の見直し時期は決まっているのか。どういう形で見直しを行うのかお伺いしたい。	計画書 6 ページにあるように令和 4 年度に中間見直しを行う。具体的な内容については子ども・子育て会議において審議をいただくことになると思うが、第一次の見直しの際には、保育の量の見込みと確保提供量について見直しを行った。次回もその時点の課題に応じた見直しをする予定。
12	計画見直しの時期はもっと早くできないのか。	中間見直しは 5 年間の計画期間の中間年ということで令和 4 年度に行うこととしている。中間見直しまで何もしないということではなく、今回の無償化など国の方針の変更や社会情勢を受けて実施していくものもあるのでそのようにご理解いただきたい。
13	包括支援センターの記述として、まずそれぞれの事業内容の記述のあとに最後に「包括支援センターとしての機能を持たせ」という形で記載があるが、最初に包括支援センターの記述があったうえで各事業の内容の説明を掲載する方が分かりやすいと思う。	包括支援センターの記述については、まだ検討中の部分も多いため、見せ方についても所管課と協議したい。
14	保育士の待遇の向上について市の施策を伺いたい。	保育士の待遇向上については、まず国で決められた金額に勤務年数に応じて加算される費用や研修に関する加算がある。それに加えて、市で上乘せして補助金も払っている。また、公立保育園の保育士をしていた者が各園を訪問指導したりするなどして質の向上にも努めている。
15	稲保連（稲城市保育園保護者連絡会）が解散になったと聞いているが、年に 1 回市長に声を届ける機会があったと思うが、解散になって代わりに声を届けられる機会があるのか。	稲保連は認可保育所 4 園の保護者会からなる団体と伺っていたが、団体側の都合により解散になったと聞いている。ただ、各園に保護者会は存在していると思うので、要望等を市の方にお寄せいただければ都度お伺いする。

16	<p>駐車券の配布については知らない方も多い。それ以外にも子育てに関する情報を年代別に分かりやすく提供していただけるものがあればありがたい。</p>	<p>駐車券配付については市 HP に掲載及び全戸配布を行っている市報で 4 月に周知させていただいている。 いなぎ子育てブックで、年代別の事業について掲載することなどは行っている。</p>
17	<p>子育てブックへは、事業の詳細については分からなかったりするので子育てブックに各事業の QR コードを掲載するなどしてはどうか。</p>	<p>子育てブックについては、毎年編集の中で工夫できるところは改善していきたい。現にご意見により改善した部分もある。</p>